

ホシケン通信

創業120周年式典、盛況裏に



▲永年勤続表彰も行われた

前橋市城東町5-657-18
027-226-1845

祝賀会では豪華な景品が当たるビンゴゲームが行われるなど出席者が親睦を深め、盛況裏に終了した。

祝賀会では豪華な景品が当たるビンゴゲームが行われるなど出席者が親睦を深め、盛況裏に終了した。

福富さんは「自分は賞に値しないと思うが、女性が働きやすい環境を考えて取り組んできたことが評価されて嬉しい」と語った。

記念式典の後に行われた記念祝賀会で直江正博専務は「時代や変化に合わせて事業が変化してきた。当社が一番大切にしているのは人。社員の皆さんの努力、継続の下に現在がある」とあいさつした。

永年勤続表彰の後、社長賞が発表され、宇都宮店業務部マネージャーの福富博美さんが受賞した。社長賞は仕事以外の活動や挑戦を含めて社員から推薦者を出し、星野社長が最終決定する。

合の渡邊望理事長は「ホシケンは群馬のみならず、業界全体において大きくかけがえない存在だ。今後も挑戦を続け、さらなる発展を遂げるよう祈念する」と祝辞を述べた。



▲「最も注力するのは人材教育」と話す星野社長

「誰一人欠けても機能しない組織であると同時に例え誰かが欠けても機能し続けられる組織」であることを挙げた。

今後については「自ら機会をつくり出して機会によって自らを変える」という社風を醸成したい。伝統を守りつつ、新しい時代に即した会社事業構造を再構築する。変化を恐れず、リーダーのバトンをつないでいきたい」と誓った。

来賓の群馬県室内装飾事業協同組

星野社長は現在、最も注力しているという人材教育について「人材育成は投資しても結果が見えにくいという人もいるが、それは違う。1つの研修で効果が得られなければ効果が表れるまで、さまざまな研修に行ってもらおうというくらいの覚悟を持って臨んでいる」と話した。

さらに同社が120年存続できた秘訣について「誰一人欠けても機能しない組織であると同時に例え誰かが欠けても機能し続けられる組織」であることを挙げた。

「時代に即して事業構造を再構築」
ホシケン

